

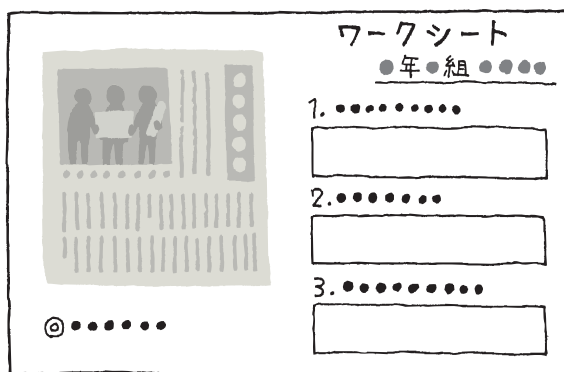
3 ワークシートを使って

NIEタイムには、新聞記事とそれをもとにした幾つかの課題を印刷した用紙を配布し、その課題を子供たちが解いていく「ワークシート」方式があります。一定のねらいを持って新聞記事を読み、考え、表現させたいと意図するときには有効な活動です。1枚の用紙に印刷し、全員同じ課題に取り組むもので、子供たちへの資料配布が簡易に行えるなどのメリットもあります

(1)「ワークシート」は、

- ①一人または数人の担当教員が作成する。
- ②校長や教頭・副校長・主任などの管理職が作成する。
- ③教員が持ち回りで作成する。
- ④生徒が作成する。
- ⑤新聞社がウェブ上で提供している無料の「ワークシート」を利用する。

などの方法があります。



(2)「ワークシート」を配り、子供たちが「問題」に取り組んだあと、その場で発表する場合と、シートを提出・回収する場合があります。

(3) ワークシートを使う方式は、必然的に、その後の処理（評価）が必要になってきます。

- ①模範解答（記述）を掲示して、それぞれが自己評価（採点）する。
- ②教師が、コメント（赤ペン）を書いて返却する。
- ③優秀作を、モデルとして掲示する。学級通信・学年通信等で紹介する。
- ④作品をファイルやノートに集積していく。

など、さまざまな方法がありますが、いずれにしても通常の学習評価とはひと味違った、子供たちに喜びと意欲と自信をもたらすような肯定的な評価でありたいと思います。そのためにも、あまり勉強的な課題を設定しないようにしたいものです。また、教師にとってこの評価が大きな負担となることは避けたいと思います。

(4) 各新聞社がそれぞれの紙面を素材とした独自の「ワークシート」を紙面に載せたり、冊子化したり、ネットで配信したりしています。詳細については、各新聞社にお問い合わせください。

<http://www.pressnet.or.jp/member/>

